

例年この時期は、 いろいろ振り返りたくなるのな。

サンタクロースをいつまで信じていたかなんてことは、たわいもない世間話にもならないくらいのものでいい話だが、そんな話よりもさらにどうでもいいのかラムが、このクールリブラー「カジのうら若き青春黙示録」だ。

勉強盛りのティーンたちの息抜きにでも読んでもらえれば御の字ではあるが、たとえ読んでもらえなくても大丈夫。筆者は今日もごはんを食べるし地球も回る。どう転んでもみんなノーマージだ。このA5サイズの中で「大勢に影響がない一言葉が並んでいる。この儚さこそ、ティーンたちにぜひ味わってもらいたいポイントだ。

これからの時期の花粉症…

花粉症といえば、2～4月ごろのスギ花粉のやつが語られがちだが、カジはこれからの時期に鼻がムズムズするのな。6～8月はイネ科のカモガヤで、9～10月はブタクサなどの雑草系のやつが原因とのこと。9月ごろに際立ってムズムズするので、特にブタクサに弱いと思われる。街を歩いていてどれがブタクサなのか分からないが、とにかくブタクサが天敵なのだ。なんだかんだで結局ブタクサって言いたいだけなのだ。

当初、図書館のマナーについておもしろおかしく表現してほしいと依頼され、かれこれ5年に渡りあれやこれやと好き勝手書いてきたわけであるが、もはや筆者個人の思い出を纏る場所となつてしまったこのスペースが、実はなかなかいいおしい。そして当面はこのスペースをお借りして、若かりし頃の記憶を蘇らせていきたいと思うので、引き続きいろいろよろしくお願ひいたします。

【前回までのあらすじ】

学校嫌い、勉強嫌いの中学生カジ少年。もはや生きる意味すら見出せなかった彼の前に、まばゆいばかりの希望の光が差し込んだのは中学2年の春。新学期のクラス替えにより、なんと学園のアイドル千絵ちゃんの隣の席をゲットしたのである。千絵ちゃんといえば、文武両道、才色兼備、異越同舟、満漢全席のみんなの憧れの存在であり、その隣の席となれば、現在なら億単位の額で取り引きされていてもおかしくない程のアレなのだ。とはいえ、相手は学園のアイドルであり、こちらはただの庶民。いわば背景みたいなものであったのだが、会心のタジヤレ攻撃や、イカサマジみた席替え大作戦により、千絵ちゃんのハートをまあああゲット！ そんなもつて仲良くなつたついでに勝負のないう定期テスト対決へ突入。数々の斬新な勉強法を試すもうまくいかず、結局普通に教科書を読むというベタなやり方でテストに臨む。ヌルっとテストは終了し、いざ結果発表！ が、もうスペースないので箇条書きにて失礼！

華麗なる図書館利用者のための

Cool Librar

クールリブラー講座

カジのうら若き青春黙示録

文/カジ

学年
400人中

千絵ちゃん
カジちゃん

25位
10位

Oh!!